

第3回 湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン検討委員会 会議概要

【開催日時】令和7年1月22日（水）午後1時00分～3時00分

【開催場所】湖南省役所東庁舎 3階大会議室

【出席委員】榎原 友樹（委員長）・千代 崇・中江 彰男・徳永 千恵子・吉本 智・芦刈 義孝（副委員長）・ 榮一（以上7名）

【欠席委員】山出 富貴子・小山 貴司（以上2名）

【オブザーバー】加納 大樹・間野 智也（以上2名）

【配布資料】資料1 湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン（素案）

参考資料1 削減目標説明資料

1. 開会

あいさつ

2. 委員紹介

3. 議事

（1）湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン

事務局：（「資料1 湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン（素案）」について説明）

委員長：ただ今の説明について、委員の皆様より意見、質問等を伺う。

本日は最後の委員会となるため、言い残しがないよう質問等していただければと思う。

委員：P6、自然エネルギーの対象範囲。前回の委員会での意見を踏まえて、地中熱を追記いただきありがたいが、説明文が少し分かりにくい。湖南省で地中熱を利用する範囲は狭いと考えている。地下水は野洲川沿いに分布しており、それ以外の地域は岩盤が固くて対象地となりにくい。コストの件は記載しないで良いのではないかな。東庁舎敷地内に地下水が流れていると思われるため、中熱利用には効果があると個人的には思っている。新庁舎建設の際には、是非、地中熱利用をしていただきたい。地下水が流れていると温度が一定となる。地下水がないと、大規模な地中熱利用が難しい。

事務局：地中熱利用の仕組みや湖南省での導入ポテンシャルもあるという内容で記載を整理する。

委員：一般家庭でも利用可能であり、地中1m前後の温度が14℃程度。利用して家を作る場合もあるので、それも一言書いておくと気づきが得られるかなと思う。

委員長：委員の皆様からも情報提供いただけると、事務局としても助かるのではないかなと思う。

- 委員： 太陽光の導入をどのような施策で増やすのか。
- 事務局： P34 に概要を整理している。工事事業者への働きかけ、工業会、工業団地協会、商工会等に説明をしながら登録企業に周知する。先行地域の補助があるため、その機会を逃さずに率先して導入していければと考えている。
- 委員： 家庭部門、業務部門について、省エネ家電等への更新とあるが、その方法は考えているか。
- 事務局： 更新への補助ではなく、デコ活や省エネによる環境的、経済的効果を示していく、発信していくことで、自発的に取り組んでいただく必要があると考えている。
- 委員： 昔、どこかの事例で、「家庭の中で一番古い家電、機器を無料で更新してあげる。」と発信したところ、多くの情報が集まったと聞く。その内、1 件を無料で更新してあげる。そういったアイデアを出して、取り組んでいただけると良いと思った。
- 委員長： 更新するのは1 台、2 台であるが、そういった情報を発信することで、多くの情報が集める、昔、少し流行った手法。
施策体系、取組について、「推奨」、「進める」等とあるが、誰が、どのように行うのか、不明瞭であるため、できるだけ書き込んでいただければと思う。
- 委員： P19「公共施設の脱炭素プロジェクト」について、太陽光発電を導入した公共施設がどのようにして選定されているのか。
石部駅改良工事の説明会で、「太陽光発電を導入しないか」と質問したら、「予算がないため導入しない」という回答であった。市民にわかるように告知をしてほしい。
➡後日確認、駅舎については JR と市所有の部分があり、太陽光設置等については JR の条件を満たす施工が予算を大幅に超えたため実現できなかったとの回答。
- 副委員長： 公共施設への太陽光発電導入は、2020 年から始まったプロジェクト。順次設置しているが、2020 年当時すべての公共施設を確認して、築年数と設置できる屋根面積などで比較して選定している。当時選定した施設でも、屋根の補修があるなどの理由で導入できていない施設もある。石部駅の改良工事は聞いていた。施設の所管が不明であるが、そういった施設も対象にできるのであれば提案できると思う。
- 副委員長： 公共施設に関連して、太陽光の導入の目標が「32 件」となっているが、市内で設置できるところ限られる。また、2050 年にはすべての公共施設に設置することは、現実的なところを考慮して設定されているのか。その都度、更新していくという考えなのか。
- 事務局： 2030 年までの導入目標「32 件」については、脱炭素先行地域の事業計画をもとに設定している。今後、プラス 32 件ではなく、すでに 15 件設置されているため、プラス 17 件。その 17 件は先行地域の中で位置づけられている公共施設に導入していくという考えである。市民への PR 効果も大きいため、2050 年にはすべての公共施設に導入していく必要があるということで設定している。
- 委員： P37、新庁舎の件は是非とも大々的にプランを組み立てて、全国に先駆けたエネルギーのまちとして PR していく。内容をもう少し強く主張しても良いのではないのか。

- 委員： 新庁舎には、木質バイオマスであるペレットや薪も是非導入を検討していただければと思う。
- 副委員長： 庁舎の玄関口にバイオマスストーブを置くなど、PRできれば良いと思う。
- 委員長： 能勢町で公共施設に入っているが、冬場は人が集まる。また、電力が高騰した場合、助かったという効果もある。一つの電源に頼らないということは、レジリエンスの観点から重要。すべての施設に入れる必要はないが検討していただければと思う。
- 事務局： 新庁舎の整備計画（案）において、防災面も含めたエネルギー源の内容が記載されているため、庁内の調整をしていきたい。
- 委員長： P7、ガスコジェネ、クリーンエネルギーなど、古い新エネの概念である。今の時代、これからの時代に推奨するのか。ゼロカーボンと整合しているか。燃料電池についても、天然ガスを中心としたものを推奨してよいのか。
- 委員長： 全体的に、写真など載っている箇所、キャプションを入れる。かい点でP13、「※3」の説明、P15、「累積発電量」の説明など見直しをしてほしい。
- 委員長： P17、イモエネルギーが困難と記載してあるが、P36の目標は見直さないということで良いのか。
- 事務局： イモエネルギーだけではなく、「自然エネルギーに関する取組の関係人口」に対象を広げている。自然エネルギーの“導入量”ではなく、教育的効果を踏まえた、自然エネルギーへの“参加者数”に変更している。
- 委員長： P40以降、太陽光に偏っている印象がある。交通を脱炭素化するための施策、産業への働きかけ、講習会するのであれば、煮詰めなければ、言葉だけの計画となってしまう。太陽光以外、地域で取り組むことに意義があること、充電インフラ、自分たちができないところをどうやって進めていくのか。産業・交通・ビルの脱炭素化を進める仕組みを考えないといけない。そういう意味では、ガスを電化することも重要な施策であるため考えていただきたい。
- 委員： 同じく P40以降、戦略プランの施策、取組とあるが、湖南省の場合、自然エネルギーは太陽光発電がメインとなる。太陽光発電を長期的に維持するための産業の育成、例えば、メンテナンス、リサイクル等を地元企業が行うなどの仕組みづくりはプランの中に入らないか。
- 事務局： リサイクルして長期に使う、メンテナンスを地元の事業者が行うことによる雇用の創出、地域での経済循環、産業を育てていく等を記載していただければと思う。
- 委員長： P6、7でポテンシャルについて記載されているが、環境省のREPOSで規模感を示すと分かりやすいのではないかと。REPOSは、おおよそ上空から見たポテンシャル把握であるため、現実的に導入される量とは異なるが、根拠として明示する。
- ワグザバー： 地球温暖化対策計画（区域施策編）とする場合、その内容整合は別途確認いただきたい。P8で対象とする温室効果ガスをCO2のみとしているが、問題ないか確認された方がよい。戦略プランが元々の計画としてある中での区域施策編としての位置付けであるため、その建付けが難しいと思うが、区域施策編であれば「削減目標」が最も重要な事項。P26、電力排出係数をゼロにすることが目標として最初に来て

いる。それらを達成するための取組として自然エネルギーのための施策がある。同じく P26、削減目標については、50.9%を目標とするという理解で良いか。また、部門別の削減目標では、廃棄物が増加しているが問題ないか。また、現在、国の地球温暖化対策計画の素案が公表されている。それらを踏まえておくと、今後、再度の改定の手間がなくなる。2035 年、2040 年の目標設定など、タイミングが難しいと思うが、上手く整理されるとよい。

事務局： CO2 だけで良いかは確認中であるが、同じく脱炭素先行地域に選定されている米原市は CO2 のみを対象とされている。削減目標は精査したい。廃棄物については指摘のとおりであるため検討したい。閣議決定前であるため、どこまで反映するかについては悩ましいところである。

委員長： 他に意見はあるか。なければ議事（2）の説明を事務局よりお願いする。

事務局： （今後のスケジュールについて説明）

事務局： 修正した戦略プランを委員の皆様を確認いただくか、委員長一任が良いか、議論いただきたい。

各委員： （委員長一任）

委員長： エネルギーの先進地として輝いていける戦略プランとしてまとめていければと思う。

事務局： 3 回にわたり、貴重な意見をいただきありがとうございました。以上で、第 3 回湖南市地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン検討委員会を閉会する。

4. 閉会